

すごいぞ!

萬古焼

四日市の伝統工芸品である萬古焼。歴史の中での変容と、変わらぬかたち。そして現在もまた、新しい発展をみせています。

そんな「すごい!」と思わせる萬古焼の魅力を、ほんの一部ですが、集めてみました。

●江戸時代から続く「型萬古」

木型を使った製法で、朝明郡小向村の森有節が考案しました。組み立てた木型に薄く土を貼り付けた後、型をばらして抜き取るため、薄くて軽くなります。四日市萬古焼に百数十年間伝えられ、現在は伝統的工芸品に指定されています。



●戦時中、代用品としての活躍

戦時中、金属が供出され、生活用品が陶器で補われました。

ボタンや湯たんぽ、やかんや尿瓶など。鏡餅の代用品もつくられていました。



●萬古焼急須でお茶を入れるとおいしくなる

萬古焼の赤萬古土（紫泥の急須等に使用されている土）には多くの鉄分が含まれています。その鉄分がお茶に含まれるタンニンと反応し、渋みを和らげます。



●「紫泥」って何?

明治20年頃にそれまでつかわれていた白土が枯渇し、代わりに鉄分を多く含む「赤土」をつかったのが始まりです。1200℃という高温で酸素を除去する「還元焼成」の方法により、赤土の中の鉄分が変化し紫褐色になるので、これを「紫泥」と呼びます。

●土鍋のシェア

昭和34年頃より耐熱土鍋の研究が行われ、ペタライトという鉱石を陶土に入れることで、加熱しても割れにくい土鍋が作られました。

2020年現在も土鍋の国内生産は萬古焼が第1位、全国シェアの8割を占めています。



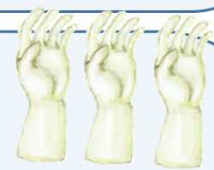
●新しい萬古焼の発展へ

自由な発想と独自の技術により、時代とともに新たな挑戦をし続けてきた萬古焼。実は、意外な分野でも様々な製品を生み出しているのです。

萬古焼産業の技術を活かして開発された、ゴム手袋をはじめとするゴム製品製造用のセラミック型は、顧客のニーズに応えることにより、世界中で使用されています。

また、耐熱陶器のノウハウを活かし制作する炊飯器の内釜やオープンレンジプレートなどの部品は、各種電気メーカーからの要望に応えることで高い評価を受けています。

このように、萬古焼の技術は、様々なかたちで活かされ現在も発展し続けています。



○萬古焼について

資料名	著者/出版社	発行年	請求記号	貸出
よくわかる四日市萬古焼読本	萬古陶磁器振興協同組合連合会	2010	L 573	○
萬古不易 四日市萬古焼のあゆみ	和木 康光/ 急須愛好の会	2015	L 573	○
四日市萬古焼史	満岡 忠成/萬古陶磁器振興会	1979	L 573	○
文化展望・四日市 第39号	四日市市文化まちづくり財団	2018	L051	○

○型萬古について

資料名	0	発行年	請求記号	貸出
かたちのミュージアム	基礎造形学会/四日市市立博物館	1994	L750	○
型萬古	四日市市立中部公民館	1976	L573	×
萬古焼、東へ	朝日町歴史博物館	2015	L573	×
萬古物語	朝日町歴史博物館	2018	L573	×

○代用品について

資料名	著者/出版社	発行年	請求記号	貸出
四日市空襲	四日市市立博物館	1995	L 392	○
瑞浪市歴史資料集第2集	瑞浪市陶磁資料館	2013	L 573	×
瑞浪市歴史資料集第3集	瑞浪市陶磁資料館	2015	L 573	×
瑞浪市歴史資料集第4集	瑞浪市陶磁資料館	2017	L 573	×
知られざる萬古焼の世界	内田鋼一/誠文堂新光社	2015	L 573	○

○紫泥急須、お茶と萬古焼の関係について

資料名	著者/出版社	発行年	請求記号	貸出
四日市市の地場産業	四日市市商工農水部工業振興課	2014	パンフレット	×
調べてみよう！ 日本の伝統工芸のみりょく 3	伝統的工芸品産業振興協会/ポプラ社	2020	L 573	○ (児童)
急須の話	山本広巳/急須愛好の会	2015	L 573	○
文化展望・四日市 第21号	四日市市文化振興財団	2004	L051	○
稲垣順一他「急須の材質による緑茶成分の変化」 http://www.mac.or.jp/mail/100401/02.shtml (財団法人食品分析開発センターSUNATEC メールマガジン2010年4月配信分〔Vol.49〕)				

○土鍋のシェアについて

資料名	著者/出版社	発行年	請求記号	貸出
四日市もっと知り隊検定 公式テキスト	四日市もっと知り隊検定実行委員会 / 四日市商工会議所	2013	L223	○
なんでも土鍋で	川上文代/小学館	2014	L573	○
広報よっかいち 平成24年度分集録版	四日市市役所 広報広聴課	2013	L318	○

10月上旬号に掲載

○新しい萬古焼の試みについて

資料名	著者/出版社	発行年	請求記号	貸出
ここはばんこ焼のまち！	内田 鋼一/月兎舎	2018	L573	○
萬古焼の粋	BANKO300th実行委員会	2018	L573	○
文化展望・四日市 第40号	四日市市文化まちづくり財団	2019	L051	○
M I Y A W O 7 0 年の歩み	ミヤオカンパニーリミテド	2001	L573	×
商工春秋 平成29年度分集録	四日市商工会議所	2018	L330	○

10月号に掲載